

関係各位

令和8年8月

元祖 近江八幡水郷めぐり運航終了のご報告とお礼

近江八幡和船観光協同組合
理事長 福永栄子

平素より当組合の事業運営に際し、格別のご高配とご厚誼を賜り、謹んで御礼申し上げます。

さて、昭和五十二年の初出航以来、半世紀にわたり水郷の自然環境の保全と伝統文化の継承を旨として営んでまいりました「近江八幡水郷めぐり」につきまして、本年度（令和8年度）をもちまして運営を終了することを、ここに厳粛にご報告申し上げます。
併せて、最終運航日は令和8年11月末日といたします。

水郷めぐりは、琵琶湖総合開発に伴う環境変化を契機として、消えゆくヨシ群生地を保全を願う有志の志から端を発しました。以来、「手こぎ舟」という素朴にして象徴的な舟運文化を守りつつ、近江八幡の自然・歴史・風土を伝える観光資源として、全国より多くのお客様をお迎えしてまいりました。

この五十年の歩みは、

- ・行政機関各位の深いご理解とご指導
- ・旅行業者各位による長年にわたる送客とご尽力
- ・観光協会・地域団体の皆様による広報支援と連携
- ・メディア各社による継続的な取材・発信

など、関係各位の温かいご支援の積み重ねによって成り立ったものであります。

組合員一同、ここに改めて深甚なる謝意を捧げる次第でございます。

近年、船頭従事者の高齢化が進み、体力的負担の増大、安全運航の確保に関する課題が顕著となっております。

半世紀にわたり守り続けてきた「手こぎ舟へのこだわり」を維持するためには、従事者の健康と安全を最優先に考えることが不可欠であり、総合的な判断のもと、事業継続は困難であるとの結論に至りました。

五十年という歳月を通じて賜りましたご厚情に、謹んで深謝申し上げます。

皆様から寄せられたご支援は、近江八幡の水郷文化を未来へとつなぐ礎となりました。

以上